

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 2 回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成 22 年 12 月 22 日 (水) 13 時 15 分 ~15 時 00 分
開 催 場 所	中部地区会館 405 会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口座長、岩田委員、田島委員、高山委員、岡本委員、 白土委員、西田委員、佐藤委員、渡辺委員、岡田委員 欠席者：奥住副座長、大野委員、鈴木委員 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康推進課主査、健康推進課員
議 題	(1)健康増進計画アンケート調査報告書(案)について (2)その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1)協議結果を踏まえ報告書案を修正し、再度個別での確認とする。
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめ。) (◇=座長、○=委員、●=事務局)	<p>※事務局から、会議を開催する前に資料の確認及び「資料 1~4」の説明、「資料 5 武蔵村山市健康増進計画アンケート報告書(案)」を説明する。</p> <p>(1) 武蔵村山市健康増進計画アンケート報告書(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ アンケート報告を見る際の注意点として、男性・20 歳代の回答者数は 19 人であり、分析する際、母数としてぎりぎりのラインであることを念頭におく必要がある。結果を見ていかがか。 ○ 家族構成は、地区それぞれでかなり違いがあり、北部や西部は昔から住んでいる方が多く 2 世代・3 世代がめだち、南部は新規に流入した方、核家族が多い。 ◇ それぞれの地区で家族構成も異なるので、今後の計画上では保健センターの地区担当でアプローチの仕方などを考える必要があるのでは。 ● 例えば、緑が丘では高齢化率が 50%程度であるなど、エリアによってターゲット、事業のやり方が異なると認識している。 ◇ それでは、健康教室への参加ニーズなどは、地区により異なると考えられるので、必要項目についてはエリア別の分析も良いのでは。 ○ 緑が丘は団地の建て替えもあり、僅かだが若い方も見られるようになった。 ○ 学園は、若い家族が多い。 ○ 無作為抽出で 2000 人に送付ということだが、20 代の回答者が少なく、これは回答者が少ないということか。 ● 其の通り。他のアンケートでも若い方の回収率は低い傾向にある。 ○ 返信の催促などが無いので、回答者が少ないのでは。 ◇ いずれにしても、若い世代の回答が少ないので、分析の際は気をつける必要がある。エリア別のデータ分析は必要か。 ○ 何をやるかによって何を分析をするかが決まる。 ◇ 報告書の最後に資料として調査票を添付してほしい。 ● 了解した。 ◇ 全般的な感想は他にいかがか。 ○ やはり回収率が 50%切るということで無関心な方が多いのかと思う。若い方は健康に自信があるからだろうか。 ○ 資料として添付してある青梅市と回収率は同程度あるが、確かに若い世代の方はまだ健康に関心がないということを実感する。若い方の回収率を踏まえ分析の際には総数だけでなく年代別が重要と思う。

- ◇ 回収率の 50%は、最近では大目と考えられ、まじめに答えられたことがわかる。回答者の年齢別構成比と人口の年齢別構成比のチェックが必要。なお、回収率 UP の工夫に関しては、土日をはさむと上がる傾向にある。
- 土日をはさみ実施した。
- ◇ 今後、若い方にも関心を持ってもらうための働きかけが必要ということ。“運動”についての結果は、いかがか。
- スポーツ教室などは、出ず嫌いといった面もある。やろうという気がなければ参加は難しい。また、一人だと難しく、友達などの普段からのお付き合いの程度が運動習慣へ影響すると思う。
- ◇ 体を動かす習慣別で「運動やスポーツ習慣」を見ると、健康な人ほどスポーツ習慣があるという結果である。
- 年代的には 30 代～50 代は忙しくスポーツをする人は少ない。60 代以上は、「やりたいのに行けない」という方がめだつ。体育協会には 21 の団体があるが、例えばソフトボールは、かつて 40 チームほどであったが現在は 15 チームほどで、団体内のチーム数が減少傾向にある。競技にもよるが、バスケットなどのハードなものは若い方が、インディアカなどは中高年の方が多い。
- ◇ 運動習慣を身につけるための市の施策の質問は、回答者数が少ないことも配慮し性×年齢別に加え、もう少しざっくりした性別、年齢別を追加してほしい。
- ウォーキングも女性が多いといった傾向にある。
- 了解した。性別、年齢別を追加する。
- ◇ “歯や口の中”についてはいかがか。
- 十分な時間をかけ歯みがきをしているかどうかは「はい」が多いが、実際にはむし歯の方は多い。食事の後には必ずという習慣が必要。また、フロスは効果があるが、利用者は少ないと感じる。
- ◇ フッ素入り歯みがき剤の利用者は 43%だが、これは一般に少ないということか。
- 少ないと考える。ただ、本当はフッ素が入っているが、それを認識していない方も多いのではないか。
- ◇ かかりつけ歯科医の有無別でセルフチェック習慣を見ると、かかりつけ歯科医とコンタクトがとれている方は、しっかりチェックしている様子が見られる。
- いずれにしる歯科医師会として、働きかけが必要と考えている。
- ◇ みんなで協力しやる。“健康診断”に関してはいかがか。
- 健康診断を受けていない方が 26.8%という結果だが、会社員は受診しているが、専業主婦の方は、会社指定医療機関による健診の場が遠いなどもある。また、特定健康診断になり、心電図など検査項目が減り不満を言う方がめだつ。
- ◇ 健康診断の結果を活用している方は 4 割となっているが。
- 健康診断を受けている方は一般に何らかの生活習慣改善に努めていると思う。一方、受けていない人は健康にあまり関心がない。例えば自由記入として「病に伏した時、1 週間以内に死ぬよう、健康には注意しない」といった意見も掲載されている。70 歳代の方で高血圧だが、治療する気がない人を奥さんが連れてきた例がある。検査の結果、治療すれば 90 歳ぐらいまで生きられるとお話したところ、やはり薬が欲しいと改める方もいた。働きかけることは無駄ではないと思う。
- ◇ 生活習慣改善に努めているのは男性の方が多いが。

- 退職した後、健康に関心を持ち始める方が多い。
- ◇ かかりつけ医の有無では、「特にいない」が30%と少なくないが。
- この地域は医者が少なく、どこも混んでいるといった現状もあり、かかりつけ医を持たず、売薬ですますといった傾向も感じる。
- 全般に、子どもの病気の場合も含め、仕事を休んでまで病院には来られないといった面があり、よほど具合が悪いか熱が上がり、初めて来院する例が目につく。
- ◇ たばこに関してはいかがか。喫煙者は約20%という結果だが。
- 実際の印象に比べ、かなり少ないと思う。喫煙する人は、回答率が低くバイアスがかかっているのではないか。
- 50歳代の仲間で小学校同窓会をやると、みんな喫煙者である。
- 歯科医では、ヤニや歯肉で喫煙の有無がわかる。
- 副流煙の質問は良いと思う。
- 以前喫煙していたが、野球を続けたいのでやめた。隣の人の煙は気になる。禁煙には3か月以上かかったがアピールした方が良い。
- ◇ 喫煙者のハイリスク分析として、喫煙と運動習慣、歯の状態などのクロスデータをお願いしたい。
- 有用なデータがでるかも知れない。
- ストレスとたばこの関係も興味深い。
- ◇ ストレスを「しばしば感じる」人は、喫煙者が多いのかも知れない。アンケート報告書に掲載する必要はないが、次年度のため、分析をお願いします。飲酒はどうだろう。
- 患者さんへのアンケートでは、女性も含めほとんどの方は時々飲んでいるといった印象である。
- 「もともと飲まない」と「ほとんど飲まない」が合わせて50%以上となっているが、自分としては信じられない。
- 空き缶の回収日には酒の缶が多い印象もある。
- ◇ 大量に飲酒する人は少ないようだ。アンケート報告書の体裁は概ね宜しいか。何かお気づきの点は事務局へ連絡をお願いします。最後の自由記入についてはどのようなまとめ方が良いか。あるいは、意見を見ての感想はあるか。
- 体育館が遠いと意見がめだつ。
- 実際、循環バスが2~3本程度なので体育館に行くのは大変であるため、教室などの開催は学校の体育館など各地区ベースで開催する方向が良いと考える。また、平日では参加できないなどもある。
- 市の真ん中にあると行きやすい。
- ◇ 土日の学校体育館の開放は実施しているか。
- 実施している。また、体育推進員が、地区別にウォーキングやキンボールなどやっている。
- 北部地区でも年3回グラウンドゴルフ大会などを行っている。
- ◇ やっているが知らないということか。
- 自由記入から見ると、例えば健診も実施しているが、知らない方もいるとうことを認識した。
- ◇ 例えば体育指導員など様々な地域資源があるので、つなげるために情報提供のしくみづくりが大切と考える。
- 掲示板に貼るなどは行っているが、グラウンドゴルフの場合は5人一組なので集められないといったこともある。
- 集まった方で5人チームをつくるなど、やり方の工夫はあると思う。
- 全般に子育て中の忙しい人は、市報を見ていない感がある。それぞ

れ関心度の差はある。

- ◇ 自治会加入率は高いのだろうか。
- 広報は自治会加入の有無を問わず全戸配布方式である。
- ◇ 見せ方もあると思う。HP はあまり見ない傾向でもある。
- 街角の市の掲示板で掲載するのも方法かと思う。
- 団地の場合、各棟の階段に1つずつある。
- 古い掲示板は撤収しており、全般的にはHP へ移行する方向にある。
- ◇ いろいろご意見が出たが、自由記入についてどのようにまとめるのが良いか。個人個人の生活習慣などの意見を拾って載せるはいかがか。
- 実施しているのに“知らない”といった意見は、広報不足であるため掲載する必要があるのでは。
- 市掲示板もHP もあまり見ないので、個別的な通知が最も効果的であると思う。税金などの通知も含め、縦割りをやめ一緒に送る、ビラ一枚を添付するなどの工夫が必要だと思う。
- ◇ 乳児健診などは個別通知なのだから、2 世代用の情報を併せて通知するなど情報の出し方の工夫が求められる。
- 同じ課の中での工夫は出来ると考える。
- ◇ セクショナリズムもあると思うが、懇談会での意見として、他課にも検討をお願いしてはいかがか。
- 市民側からすると、市の縦割りの事情は理解できない。例えば特定健診は国保年金課が所管し、健康推進課が+αをやる。さらに介護保険の機能表は高齢者福祉課、生活保護の人の健診は生活福祉課といった状況であり、どの課の予算なのかさっぱり分からない。無駄ではないのか。
- ◇ 役所側策定委員会の構成をよく考えてほしい。健康増進計画の所管は健康推進課だが、計画策定の際には関係課の職員が、懇談会に出席するなどが必要だと考える。当該分野の議論の際には、関係課職員の出席が望ましい。
- 75 歳からは高齢福祉課になるといったこともあるので、市全体として取り組んでほしい。あるいはトップダウンも有効だと思う。
- ◇ 懇談会の意見として協議組織の編成は、事務局側で配慮することをお願いする。
- 了解した。検討する。
- ◇ 自由意見については、年代別などで有意な意見をピックアップし、文章化をお願いする。
- 今日意見を踏まえ報告書案を修正し、再度確認いただく。
- ◇ さらにご意見があれば、事務局への連絡をお願いする。

(2) その他について

- ◇ その他はあるか。
- 次回開催日程について後日調整を取らせて頂く。
- ◇ 次回の検討として、“計画書づくり”が目的ではないので、章立てで検討するというより、重要項目の検討・協議といった形で進めたいと思う。
- 了解した。
- ◇ 以上で本日の議事はすべて終了した。これで、第2回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会を終了する。

会議の公開・ 非公開の別	■公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： _____ 0人
-----------------	--	---------------

会議録の開示・ 非開示の別	■開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）
------------------	--

庶務担当課	健康福祉部健康推進課（TEL：564-5421）
-------	--------------------------

（日本工業規格A列4番）